

2013年度 高齢者・障がい者生活サポートネットワークほっとライン 事業報告

【名称】 青丘社 ほっとライン
 【住所】 川崎区桜本 1-8-22 【電話】 044-270-6127
 【管理者】 湯浅利啓
 【居宅介護支援員】 湯浅利啓 姜玲玉 張順子 李契順
 【訪問介護・管理者】 張順子
 【サービス提供責任者（主任ヘルパー）】 金裕美、高橋明美、小林弘子
 【スタッフ】 常勤職員 8名（内 介護福祉士 7名）
 登録ヘルパー 30名（内 介護福祉士 7名）

【活動報告】 契約利用者の高齢化により、全体として重度・重篤化傾向が進み、入退院、入所等の大きな変化への対応場面が増えている。利用者・家族の多重化する困難（認知症、うつ、アルコール依存症、人格障がい、経済破綻、介護疲労等々）に試行錯誤を重ねながら一番身近で寄り添い、生活主体としてその人が望む選択を行えるよう支援している。医療依存度が高いまま在宅生活を余儀なくされる利用者は増加しており、直接的な援助だけでなく、医療機関、福祉施設、行政と連携しながら情報提供等を含む広範な支援を行ってきた。また、豊かさの内容が問われる生活援助が、住み慣れた地域で暮らし続ける上で重要な支えとなっている。こうした利用者の多様なニーズに丁寧に応えるため、部署毎の研修により、知識・技術の研鑽に努めた。在日コリアン高齢者の生活課題に取り組んできた経験を全体化していく試みを行っている。レベル毎に会議を持ち、各部署内・部署間の連携を密にし、日々刻々変化する利用者の状態に対応できるよう体制作りを行っている。ほっとライン複数部署の事務所機能を集約することで、部署間連携を強め、マンパワーの効率化を図っている。

◆居宅介護支援 実績

利用者数推移（件数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
86	81	78	77	79	79	77	75	75	76	76	77

◆訪問介護 活動実績

<高齢者>

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
利用者数	要支援	1	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0
	要支援	5	6	5	5	4	5	5	5	5	4	4
	要介護	20	19	19	19	19	19	19	19	19	20	20
	要介護	12	10	10	10	12	12	12	12	12	11	11
	要介護	11	9	9	7	6	4	6	6	6	7	7
	要介護	2	2	2	3	2	2	1	1	2	2	2
	要介護	2	2	2	2	2	2	3	4	4	4	4
	合計	53	49	49	46	46	44	46	47	48	49	48
提供時間	885.46	895.35	842.25	893.15	849.45	785.25	811.20	805.05	828.00	811.35	761.55	854.25
派遣回数	652	657	626	661	608	558	581	582	583	587	556	600

ヘルパー対応 702.50 671.75 608.75 665.25 661.50 616.25 651.00 614.25 609.25 617.75 556.50 681.25

事務所対応 182.96 223.60 233.50 227.90 187.95 169.00 160.20 191.25 218.75 193.60 195.05 173.00

<障がい者>

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
居宅介護	身体	利用者	4	5	3	4	3	4	3	3	3	2	3	
		派遣時間	25.0	22.5	19.0	23.0	20.0	19	21.5	20.0	19.5	18.5	15.0	19.0
	家事	利用者	5	5	5	6	6	6	5	4	4	4	4	4
		派遣時間	54.0	63.5	61.0	67.5	66.0	62.0	60.5	52.0	49.75	48.5	44.5	45.5
	通院介助	利用者	3	3	3	5	4	4	3	2	4	3	3	3
		派遣時間	13.5	9.5	8.5	16	12.5	11.5	7.5	8.0	9.0	7.5	10.5	7.0

重度訪問	利用者	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	派遣時間	110.0	60.5	70.0	70.0	70.0	52.5	86.0	70.0	78.0	70.0	44.5	70.0
行動援護	利用者	5	5	5	4	5	5	5	5	5	5	5	5
	派遣時間	151.5	153.5	179.0	149.0	170.5	160.5	148.0	152.5	165.0	160.0	113.5	155.0
移動支援	利用者	7	7	7	6	6	8	6	6	6	6	6	6
	派遣時間	81.25	92.0	90.0	82.25	71.0	85.0	57.5	72.0	88.0	84.5	69.5	60.0
あんしんサポート	利用者	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1
	派遣時間	0	0	0	0	0	9.0	13.0	12.0	13.5	12.0	12	10.25

【名称】 青丘社 ほっとラインデイサービス（通所介護）

【定員】 10名

【住所】 川崎区大島 3-33-4 ベリタス原田

【電話】 050-3333-8196

【管理者】 秋元敏恵

【生活相談員】 秋元敏恵、田中佳代子

【スタッフ】 非常勤、月契約スタッフ 5名

【活動報告】 高齢化が進み施設入所や入院が増加し、利用者の利用が減少、2014年3月現在18名の方が契約し、ご利用している。身体機能の低下、認知症の進行、重度化する利用者の援助にはスタッフ一同試行錯誤を重ねている。

日々変化する利用者の状態にすばやく対応出来る体制作りを強化し、ご家族の介護軽減、また、独居の方の支えとなる援助を心掛けた。人格を尊重し一人ひとりのニーズに合わせた援助の実践、身体機能低下予防・日常生活訓練、回想法、カラオケ、レクリエーション等工夫している。

隣接の認知症対応型通所介護との交流により、スタッフ・利用者共に活気づいて交流の輪が広がり、利用者のプログラム参加が積極的になり、病状改善、認知症予防防止に繋がっている。2013年度より日帰りバス旅行を計画、実施している。

安心できる居場所、家庭的で母国語でも会話出来る場所を提供し、豊かな生活が送れるように日々支援している。

好評の食事は、韓国料理を中心に栄養バランスを考え、行事食や季節に合わせたメニュー作り、個々の嗜好も取り入れ提供出来る様に努力している。

(平均年齢 85.3歳 90歳以上 5名)

区分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
利用者数	要支援1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	要支援2	0	0	0	0	5	5	7	6	7	0	2	1
	要介護1	68	76	62	64	48	51	42	41	37	41	34	38
	要介護2	25	27	32	45	31	40	46	24	22	23	25	28
	要介護3	59	67	49	27	27	12	15	36	36	28	28	29
	要介護4	27	37	31	46	42	27	19	16	11	13	2	5
	要介護5	0	0	0	0	0	0	0	0	2	2	3	6
	合計	179	207	174	182	158	135	129	123	115	107	94	107

※延べ人数

【名称】 青丘社 ほっとラインデイサービス（認知症対応型通所介護）

【定員】 11名

【住所】 川崎区大島 3-33-4 ベリタス原田 1階

【電話】 050-3333-8196

【管理者】 金成美

【生活相談員】 金成美・小村麻有

【スタッフ】 非常勤、月契約スタッフ 5名

【活動報告】 同一敷地内に通所介護と認知症対応型通所介護を隣接させることにより、提供サービスの明確な差異化と賃料支出及びマンパワーの効率化を図っている。うつによるひきこもりの方、認知症で多人数が苦手な方、孤独感の強い方など、様々な問題を抱えている人の立場により沿って、その人らしく過ごせるように、利用時間をご本人の大切な時間として考え、毎日スタッフが工夫しながら様々なプログラムを一緒に行ってきた。認知症対応型デイサービスでは、これまでの取り組みを活かしつつ、更に認知症ケアに特化した実践を積み重

ねている。隣接の通所介護デイサービスとの交流により利用者同士の交流の輪が広がり、認知症の進行防止、症状の改善につながっている。2013 年度より日帰りバス旅行も計画、実施している。

(平均年齢 84.5 歳 90 歳以上 3 名)

区分		4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
利用者数 (述べ人数)	要支援 1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要支援 2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	要介護 1	20	18	22	23	17	17	14	19	17	16	8	19
	要介護 2	28	15	12	15	23	18	19	19	20	32	44	52
	要介護 3	69	64	58	63	60	56	61	64	62	39	31	22
	要介護 4	8	4	0	0	0	0	0	11	6	6	7	9
	要介護 5	0	0	4	4	5	5	4	5	4	4	4	4
	合計	125	101	96	105	105	96	98	118	109	97	94	106

【名称】川崎市障がい児タイムケア事業

(田島養護タイムケアセンター)

【住所】①田島養護タイムケアセンター(月～土) 川崎区池上新町 1-1-3(田島支援学校桜校内)

*①使用出来ない時には、下の②、③の場所を使用した。

②渡田タイムケアセンター 川崎区渡田 1-15-5(渡田こども文化センター内)

③桜本コミュニティセンター 川崎区桜本 1-8-6

【電話】事務所 (ほっとライン) : 044-379-1037 専用携帯 : 090-5443-4671

【実施日時】月曜日～土曜日

放課後～18:00、土曜日及び長期休暇中 10:00～18:00

【定員】1 日 10 名程度

【管理者】相 啓一、八木一枝

【スタッフ】常勤 2、非常勤 28

【活動報告】タイムケア事業は、川崎市の委託を受けて障がいのある中・高生の放課後や夏休み等の長期休暇中の余暇活動の充実を図ることを目的に実施している。

2013 年度は、1 日の受入人数が今までで一番多かった。空間的に、これ以上受けられないギリギリの利用者を受け入れた。

活動は個々のニーズに合わせ、落ち着いて楽しく過ごせるよう配慮し、必要に応じて担当スタッフを付けるようにした。年度の途中から、おやつにパンを取り入れた。利用者さん及び保護者から好評を得ている。

反省点として、今後、スタッフの確保、対応しきれないニーズについての行政への働きかけなどが課題となっている。

【タイムケア事業実績】

2013 年度(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
登録人数	59	60	60	60	61	61	61	61	61	61	61	61	
実施日数	25	24	25	26	27	23	26	24	23	23	23	25	293
延べ利用者数	300	298	321	337	317	301	340	322	297	300	275	311	3733
送迎回数	320	278	320	402	438	274	322	317	336	294	231	349	3881

【名称】障がい児・者相談支援事業

【住所】川崎市川崎区桜本 1-8-2 2

【電話】事務所 (ほっとライン) : 044-379-1037

【実施日時】月曜日～金曜日

9:00～18:00

【管理者】姜玲玉

【スタッフ】相談支援専門員 常勤 1 (兼務)

【活動報告】2012 年度 4 月より、障害者自立支援法及び児童福祉法が改正され、障がい福祉サービスを利用する方や、通所支援を利用する障がい児のケアプランを作成する「計画相談支援」、「障害児相談支援」がスタートした。ほっとラインも事業所指定を受け、8 月より順次希望者の支援を開始した。2014 年 3 月現在で契約者数は計画相談支援 14 名、障害児相談支援 7 名。

また、タイムケア、虹のホーム、訪問介護、ほっとカフェ、桜本保育園、ふれあい館、日

中一時預りなど法人内の各部門と連携し、障がいのある方や家族が地域で生活する上での課題と一緒に取り組むことが増えている。

- 【名称】 **日中一時支援「そら」、放課後等デイサービス「ちえりー」**
- 【住所】 川崎市川崎区桜本1-8-6 【電話】 044-276-8082
- 【実施日時】 月～金 幼児 10:00～13:00、学齡児放課後～17:30（その後送り）
成人 15:30～18:00
- 【定員】 幼児 5名程度、小学生 10名、中高生 5名程度、成人 3名
- 【管理者】 日中一時支援～齊藤ゆみ子（12月まで）
日中一時支援～李契順（12月より）
放課後等デイサービス～中根正一（12月より）
- 【児童発達支援管理責任者】 放課後等デイサービス～齊藤ゆみ子（12月より）
- 【スタッフ】 日中一時支援～幼児 6名、学齡児～29名（12月より内 4名が放課後等デイサービスへ移動）
放課後等デイサービス～5名（12月より）
- 【活動報告】 小学生の活動も本格化し、部屋の広さ、送迎車のキャパシティいっぱいまで利用者の受け入れを始めた。12月1日には「放課後等デイサービス」事業所の指定を川崎市より受け、順次小学生の利用者を「日中一時支援」より「放課後等デイサービス」制度利用に切り替え始めている。
- 幼児については療育センターや近隣の幼稚園、保育園利用も多くなり青丘社としての活動役割は終わったと判断し、今年度一杯で活動を終えた。
- 成人は、年度途中より利用者の通っている生活介護事業所の終了時間が4時から3時30分へ変更となり、ますます夕方の受け入れ先がない問題が大きくなっている。保護者等より相談もあり、車、人員等の困難を伴いながら3時30分よりの受け入れを行っている。

【2013年度事業実績】

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
幼児	29	43	37	31	44	53	52	54	57	47	35	45
小学生日中	222	223	217	226	215	232	230	230	213	163	150	136
放課後等デイ										53	88	96
中高生	62	72	67	74	54	63	73	74	65	63	66	69
成人	14	16	15	16	16	11	18	20	17	16	17	14
合計	327	354	336	347	329	359	373	378	352	342	356	360

- 【名称】 **ケアホーム 虹のホーム** 【定員】 3名 内3名利用
ケアホーム 第二虹のホーム 【定員】 6名 内6名利用
- 【住所】 川崎区桜本2-45-1（新）
- 【電話】 044-277-0223（虹のホーム） 044-266-3470（第二虹のホーム）
- 【管理者】 姜 玲玉
- 【サービス管理責任者】 川本創一
- 【スタッフ】 世話人 5名 生活支援員 8名
- 【活動報告】
- ＜スタッフ体制＞
- 世話人：異動無し。
 - 生活支援員（男子）：夕方の支援枠2箇所に変動有。早朝支援は元より流動的な中、比較的固定したシフトを組めた。
 - 支援員（女子）：1ヶ月2回の入浴支援枠の担当、朝の支援枠の位置付けが変更。全体としては比較的安定した体制がとれた。
- ＜ご利用者＞
- 移転後2年目、全体的には生活リズムが安定し、精神面に良い影響がみられた一方、新生活の新鮮味が薄らぐ（慣れる）中で利用回数の減少・不安定化の見られるケースもあった。「共同生活」のルールや日々のサイクルを修正加味しながら関係が作られて来ている。
- ＜行事＞
- 誕生会：恒例行事として移転後も継続している。利用者の希望メニューを元にした夕食。その後、2

階リビングに男女とも集まり、ケーキを囲む時間を持つ。

○ホーム企画の日帰り外出：年2回を目処に（大・小規模）行っている。昨年度は4月に木下大サーカス、秋のディズニールンドは荒天により池袋サンシャイン水族館に変更。

＜生活環境その他＞

○防災：火災時避難マニュアル・緊急時連絡網作成。避難訓練開催2回（3階テラスのハッチ使用）

○家事：洗濯と干しの流れは、特に男子住居（1階）の日当たり不足や共有スペースの相対的狭さのため、工夫を要した。

○風邪・感染症予防：手洗い・冬場の湿度保持・年中通して寒暖の配慮。

○設備・備品など：勝手口側の塀を切除し、車いす乗り入れコースの確保。旧ポスト廃止・新設。玄関脇のへこみ、転倒防止措置、等。

【ケアホーム月別開所日数・利用日数】

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
虹のホーム (定員3名)	開所日数	26	27	25	27	27	25	27	26	24	23	24	26
	利用日数	73	72	68	77	69	68	67	70	67	61	61	51
第二虹のホーム (定員6名)	開所日数	26	27	26	27	27	25	27	26	24	23	24	27
	利用日数	109	132	139	150	119	98	120	128	125	123	121	131
合計 (のべ)※	開所日数	234	240	234	243	243	225	243	234	216	207	216	240
	利用日数	182	204	207	227	188	166	187	198	192	184	182	182
利用率		78%	85%	89%	93%	77%	74%	77%	85%	89%	89%	84%	76%

※（虹のホーム開所日数×3(定員数)）＋（第二虹のホーム開所日数×6(定員数)）

【名称】障がい者就労支援 地域活動支援センター スペースほっと&ほっとカフェ

【場所】川崎区桜本1-8-10 【電話】044-288-5141

川崎区桜本1-7-24 【電話・FAX】044-266-8093

【管理者】金恵玉

【スタッフ】常勤2名 非常勤1名 調理スタッフ3名 サービス管理責任者1名

【障がい就労者】5名（川崎市）3名（横浜市）

【一日平均お弁当販売数】70食

【活動報告】2013年度、ほっとカフェは、利用者が落ち着いて働くことができるための職場環境の見直しを行った。昨年、ほっとカフェを全面禁煙にしたことから顧客の数が減少したが、その時間とスペースを利用して、スイーツ作りやメニュー作りの練習など、安定した時間を過ごす事が出来ている。お弁当工房の取り組みとしては、わくわく3校の手作りおやつ作りの日数が増えたことにより動きが多忙になっている。また消費税の値上がりに伴い、今までのお弁当の価格を維持することが困難になってきたため、価格改定にむけて、準備を進めてきた（地域にアンケートを配る、集計、報告）。また、利用者には、個別の対応を各部署と連絡を密にしながら、連携を行ってきたことにより、利用者が安定的に働く事ができるようになってきている。個別支援計画に基づきながら、さらに丁寧な取り組みをしていきたい。障がい者余暇支援として、キミ子方式の絵画教室『まちなか絵画教室』を月2回開いている。利用者自身が絵を描きたいと表明し自発的に関わる場としての絵画教室は、今後も活躍の場を広げていく。

【名称】ほっとカフェテリア パン工房

【場所】川崎区浜町1-19-14 アカツキビル1階 【電話】050-3399-5411 【FAX】044-333-8624

【管理者】豊田民珠

【スタッフ】非常勤スタッフ：週30時間以上契約1名、週30時間程度＝1名、週5日1日あたり1時間スタッフ＝1名、週2日スタッフ＝3名、週1日スタッフ＝2名

※バックアップ＝金恵玉（スペースほっと&ほっとカフェ）

【活動報告】

月	トピック
4月	2年度目スタート 「春の祭り」参加 毎週木曜日「わーくす大師」にてパンの出張販売開始
5月	ふれあい館にて毎週火曜日昼 パンの出張販売開始
6月	新規利用者1名（6月利用、7・8月弁当工房にて研修） 退所者1名

8月	夏季休業4日間
11月	「さくらもとプンムルノリ」出店 「こども未来集会」出店（開催場所：下平間小学校）
1月	「田島プラザまつり」出店
2月	「ふれあい製品アゼリア展示即売会」出店
3月	利用者研修実施（中野にある特例子会社ハーモニー見学、ドームシティ）

<スタッフおよび利用者状況>

○元ほっとカフェテリアスタッフを継続雇用した。年度内で利用者との活動にも慣れ、次年度、新たに利用者への働きかけができるような活動につなげた（共同作業等）。

○新たな若手スタッフ1名を採用。弁当工房やちえりーでの働きも合わせて活躍。

○大きな課題を抱えるご利用者については、相談支援とも情報を共有し、ご家族と他の相談機関をつなげ、ご本人の障がい理解や市内の制度理解を深めることができた。

○ご利用者毎に個別支援計画を作成し、お一人おひとりの活躍をサポートした。

<授産活動について>

○サリサリストアは販売好調。

○金曜日のペルーランチは2013年度末時点では20食程度用意する日が増えている。材料の買い出しからボランティアに頼っており、ペルーの食材やペルー料理向きの食品調達に苦労している。利用客はいまだ法人内の職員が多く、ペルー人にあまり知られていないのが課題。豆や調味料の仕入れルートを探し、今後サリサリストアに並べることも考えている。

○喫茶店での500円ランチプレート提供業務（月・火・木のみ）は、障がい者の活動支援には結び付かず、再考。

○パンの店頭販売向上のため、商店街側に販売窓口を作ることが課題として上がる。

○製パン作業について、8月から3か月毎に人を入れ替えながら、弁当工房のご利用者にはパン研修を実施。材料の計量やミキサー操作、成形に至る作業を3か月の間に体得でき、どのご利用者も自信をつけていた。

○初年度からパン工房に関わっているご利用者は、徐々に弁当工房やほっとカフェでの作業に参加する機会を持ち始め、利用者の活動の場を広げる取組みが始まっている。

【月ごと利用者数推移・通年における一日平均利用者数】

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	1日平均
5名	5名	6名	4名	4名	5名	5名	6名	6名	6名	6名	6名	4名